

## 数学課題 第2回目



### 2節 正の数・負の数の計算 ① 教科書 P.24~27

教科書 P.24~27 を見て、次の空欄に語句を書こう！

(<sup>1</sup> **加法**)... たし算

ある 2 数の和において、2 数の符号と、それらの和の符号を見てみると、正の数どうしの和は、いつも(<sup>1</sup> **正の数**)、負の数どうしの和は、いつも(<sup>2</sup> **負の数**)になっている。

正の数と負の数の和は、正の数になったり、負の数になったりしている。

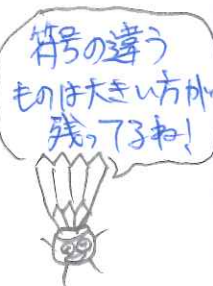
ある 2 数の和において、2 数の和の数は 2 数の絶対値の和になっているか、差になっているかのどちらかになっています。絶対値の和になるのは、2 数の符号が(<sup>3</sup> **同じ**)ときで、絶対値の差になるのは、2 数の符号が(<sup>4</sup> **違う**)ときである。

教科書 P.24~27 を読んで、次の問いを解こう！

教科書 P.26

問 1

(1)  $(-8)+(-3)=-11$  (2)  $(-6)+(-10)=-16$  (3)  $(-7)+(+18)=+11$  (4)  $(+5)+(-9)=-4$



問 2

(1)  $(+21)+(-26)=-5$  (2)  $(-35)+(+38)=+3$  (3)  $(-25)+(+22)=-3$  (4)  $(+34)+(-28)=+6$

(5)  $(-27)+(-34)=-61$  (6)  $(-12)+(-12)=-24$  (7)  $(-49)+(+49)=0$  (8)  $0+(-37)=-37$

教科書 P.27

問 3

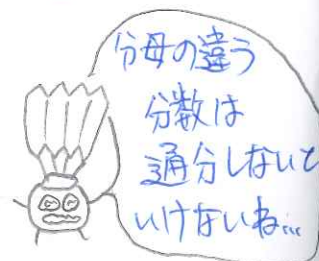
(1)  $(+8)+(-4)=+4$  (2)  $(-4)+(-6)=-10$  (3)  $(-5)+(-5)=-10$  (4)  $(-9)+(+9)=0$

(5)  $(-7)+(+9)=+2$  (6)  $(+4)+(-10)=-6$

問 4

(1)  $(-0.4)+(-0.3)=-0.7$  (2)  $(+5.3)+(-2.3)=+3$  (3)  $(-\frac{3}{7})+(\frac{2}{7})=-\frac{1}{7}$  (4)  $(-\frac{4}{5})+(-\frac{1}{5})=-\frac{5}{5}=-1$

(5)  $(-\frac{1}{3})+(-\frac{1}{4})=-\frac{4}{12}-\frac{3}{12}=-\frac{7}{12}$  (6)  $(+\frac{1}{6})+(-\frac{3}{10})=(+\frac{5}{30})+(-\frac{9}{30})=-\frac{4}{30}=-\frac{2}{15}$



「よくわかる数学の学習 1」の 8~9 ページを解こう！

## 2節 正の数・負の数の計算 ② 教科書 P.28~29

教科書 P.28~29 を読んで、次の空欄に語句をうめよう！

加法の計算法則について、 $b+c=c+b$  が成り立つことを(「加法の交換法則」)といい、 $(b+c)+d=b+(c+d)$  が成り立つことを(「加法の結合法則」)という。

(「減法」)... ひき算

教科書 P.28~29 の内容や減法の計算方法を身につけて、次の問いを解こう！

教科書 P.28

問 5

$$\{(+3)+(-4)\}+(-5) = (-1)+(-5) = -6$$

こを先に  
しよ!

$$(+3)+\{(-4)+(-5)\} = (+3)+(-9) = -6$$

こを先に  
しよ!

答えが一致してるね!



教科書 P.29

問 6

$$(1) (+6)-(-2) = (+6)+2 = +8$$

$$(2) (-9)-(+4) = -13$$

$$(3) 0-(-7) = 0+7 = +7$$

$$(4) (-5)-(-5) = (-5)+5 = 0$$

$$(5) (-27)-(-12) = (-27)+12 = -15$$

$$(6) (-17)-(+54) = -71$$

↑  
わかるかな?

(-) - (+) は  
(-) + (-) にすると  
加法になるね!



問 7

$$(1) (-1.6)-(+0.6) = -2.2$$

$$(2) (+3.5)-(-2.3) = +5.8$$

$$(3) (-\frac{1}{6})-(-\frac{5}{6}) = +\frac{4}{6} = +\frac{2}{3}$$

$$(4) (+\frac{1}{2})-(-\frac{1}{3}) = (+\frac{3}{6})-(-\frac{2}{6}) = +\frac{5}{6}$$

「よくわかる数学の学習1」の10~11ページを解こう!

## 2節 正の数・負の数の計算 ③ 教科書 P30～31

教科書 P30～31 を読んで次の空欄に語句をうめよう！

ある計算式  $(+3) - (-3) + (-5) - (-9)$  において、これを加法だけの式になおすと、 $(+3) + (+3) + (-5) + (+9)$  となるが、このとき、各カッコの前の「+」で区切った数、 $+3$ ,  $+3$ ,  $-5$ ,  $+9$ , をこの式の( <sup>1</sup> 項 )という。  
また、 $+3$ ,  $+3$ ,  $+9$ , を( <sup>2</sup> 正の項 )といい、 $-5$ , を( <sup>3</sup> 負の項 )という。

教科書 P30～31 の内容をよく読んで、次の問いを解こう！

教科書 P30

問 1

$$\begin{aligned} (1) (+2) - (-9) + (-5) &= (+2) + 9 + (-5) \\ &= +11 + (-5) \\ &= +6 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (2) (-4) + (+5) - (-6) + (-7) &= (-4) + (+5) + 6 + (-7) \\ &= (-11) + (+11) \\ &= 0 \end{aligned}$$

正の項と負の項を  
整理すると、計算  
しやすいこともあるよ！



教科書 P31

問 2

$$(1) 6 - 9 = -3 \quad (2) -8 + 4 = -4 \quad (3) -15 - 8 = -23 \quad (4) 3 - 5 - 4 = -6$$

$$\begin{aligned} (5) -2 + 8 - 6 &= -2 - 6 + 8 \\ &= -8 + 8 \\ &= 0 \end{aligned} \quad \begin{aligned} (6) 1 - 2 + 3 - 4 &= 1 + 3 - 2 - 4 \\ &= 4 - 6 \\ &= -2 \end{aligned}$$

問 3

$$\begin{aligned} (1) 6 - 10 + (-15) &= 6 + (-25) \\ &= -19 \\ (2) -12 + 8 - (-14) &= -12 + 8 + 14 \\ &= -12 + 22 \\ &= +10 \\ (3) 9 - 12 + 7 - 13 &= 9 + 7 - 12 - 13 \\ &= 16 - 25 \\ &= -9 \\ (4) -8 - 4 + (-1) - (-7) &= -8 - 4 + (-1) + 7 \\ &= -13 + 7 \\ &= -6 \end{aligned}$$

(5) は先に  $-24$  と  $+24$  を計算して  
 $0$  にしてもいいね！

$$\begin{aligned} (5) -24 - (-15) + (-35) + 24 &= -24 + (-35) + 15 + 24 \\ &= -59 + 39 \\ &= -20 \end{aligned}$$



<振り返り・疑問点など>

「よくわかる数学の学習1」の12～15ページをやろう！